主催：真宗大谷派　東京教区

東京教区
報恩講

2023年1月26(木)・27(金)・28(土)日

※26日は帰敬式です

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

27日(金)

13:00　開式
13:15　逮夜法要　感話 / 藤井 智子氏(群馬組政淳寺准坊守)
法話 / 武田 定光氏(東京6組因速寺住職)
講題「いま、ここが浄土だ」
16:45　閉式

17:30　通夜説教　河和田 唯章氏(茨城2組報佛寺候補衆徒)
建部 淳曜氏(埼玉組照誠寺副住職)
成田 宣明氏(湘南組金相寺住職)
池田 向一氏(長野1組向源寺住職)
20:00　閉式

28日(土)

13:00　開式　合唱 Tokyoサンガ9
13:45　日中法要　感話 / 望月 春雄氏(栃木組紫雲寺門徒)
法話 / 武田 定光氏(東京6組因速寺住職)
全体質疑
17:30　閉式

ご参詣申込み

ご参詣は事前申し込み制となっております(各回定員50名)
お申込みの詳細につきましては募集要項
または下記の特設サイトをご覧ください

YouTube配信

27日、28日はYouTubeにて生配信します。
東京教区報恩講の特設ページをご覧ください
<URL> https://ji-n.net
暮らしにじぃーん　報恩講



東京教区報恩講

あるお寺の掲示板で「仏法のわからない人は、わかるまで聞きましょう 仏法のわかる人は、わからなくなるまで聞きましょう」という法語に出遇いました。

では、私たちは浄土真宗のことを聞くのか、浄土真宗そのものを聞くのか。私たちはわかりたいという思いで仏法を聞いてはいないでしょうか。知識として聞いたことは、握って離さず、ついには腐ってしまいます。「わからなくなるまで聞く」とは、聞いてきたことが解体され、聞いてきたことから再び問い返される、その繰り返しが聞法という歩みではないでしょうか。私たちは浄土真宗と名告りながら、浄土をわかったこととして握ってしまってはいないでしょうか。

武田定光先生は「もう済んだと思ったが、まだ始まっていなかった」とよく仰いますが、このことは決してわかったこととせず、聞き続けることの大切さを教えてくださっています。今回の報恩講では「浄土についてお話しください」とお伝えしたところ、先生からは「いま、ここが浄土だ」という講題をいただいております。

また、ご法話の後には聞いたことの確かめの時間（質疑）をお願いしてあります。ご法話、質疑と合わせて私たちの握っている浄土観の解体の様子がうかがえるかもしれません。

皆様にはぜひご聴聞いただきますようお願い申し上げます。

もう一つ、今回初めての試みとして、4人のご講師に「通夜説教」をお願いしております。本当の「夜通し」とはなっていませんが、必ず教えを聞き、伝える、という志のもとのご法話です。こちらもぜひご聴聞くださいますよう、あわせてお願い申し上げます。

東京教区報恩講企画会

講師プロフィール

武田 定光 氏



1954年東京都生まれ。大谷大学大学院文学研究科博士課程修了。
東京6組因速寺住職。元親鸞仏教センター嘱託研究員。

御参詣の方へ

定員50名(各回)

※申込みの詳細につきましては同封の募集要項をご覧ください。※お斎なし(境内に飲食物の提供はありません、近隣の飲食店をご利用ください。) ※駐車スペースには限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。※YouTube配信を行いますので、予めご承知おきください。

報恩講ご懇志について

ご懇志をお寄せいただける方は下記郵便振替口座をご利用ください。
※振込用紙の通信欄に「報恩講志」と明記ください。

【口座】郵便振替　【口座番号】00190-7-136475　【加入者名】真宗大谷派 東京教務所

お問合せ・会場　真宗大谷派東本願寺 真宗会館（東京教務所）
〒177-0032　東京都練馬区谷原1-3-7　TEL/03-5393-0810　FAX/03-5393-0814
mail/tokyo@higashihonganji.or.jp　HP/https://ji-n.net